

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
中心市街地地区

平成23年2月

山形県山形市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	駅東西自由通路横断者数	人・日	8,496	9,000	9,298	確定 ●	○	あり -	-	H 年 月	-	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	山形駅を中心として東西の地域間交流が活性化され、駅東西自由通路横断者数が増加した。
指標2	区域内でのイベント数	回	71	100	100	確定 ●	○	あり -	142	H22年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	広場公園の整備が行われ、賑わいの場が提供されたことによりイベント開催が活性化した。
指標3	季節による歩行者数	-	1.0	1.3	1.1	確定 ●	△	あり ●	1.3	H22年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歩道の消雪設備の整備、また中心市街地の賑わいを創出するイベント等の開催により、冬季の歩行環境の向上が図られ
指標4						確定		あり		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定		あり		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	歩行者数	人・日	1,033	/	2,393	確定 ●	/	/	2,726	H22年5月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	歩道の消雪設備が整備され、またイベント等が開催されたことにより、冬季の歩行者数が増加した。
その他の数値指標2			/	/	/	確定	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定	/	/	/	H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	各観光スポットのさらなる魅力の向上	・広場等の整備により、賑わいの場を提供し、定期的なイベントを開催	・区域内でのイベント数が増加した。	
	地区内道路および歩行空間の計画的な整備	・歩道空間を整備し、快適な歩道空間を向上させた。	・歩道空間を整備したことにより、歩行者数が増加した。	・地区内の未整備道路についても計画的に整備を進めていく。
	防災機能を備えた公園の維持管理	・定期的な清掃及び巡回の徹底	・通常時の憩いの場としてだけでなく、災害時の避難場所としての機能が確保された。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	街中の回遊性の向上	・個々の観光スポットの魅力の向上。 ・回遊性が向上する事業の展開。	・第2期都市再生整備計画でH22年度より開始。	
	第一小学校旧校舎活用方法の検討	・中心市街地の活性化に寄与するために、活用方法について検討を行った。	・第2期都市再生整備計画でH22年度より開始。	・より良い活用を目指し、住民と協力して進めていく。
	道路及び歩行空間の整備	一部道路の残区間の整備を行い、交通環境の充実を図った。	・第2期都市再生整備計画でH22年度より開始。	・歩道や消雪施設の設置により歩行空間を確保するとともに、違法駐輪を減らし歩行者の安全を確保するために駐輪場等の整備を行う。
	公園・緑地・広場のさらなる整備	・平常時には人々が集まり活用できるスペースとして機能し、災害時には避難場所として機能する公園等を整備した。	・公園等を整備したことにより、歩行者数・イベント開催数が増加した。 ・第2期都市再生整備計画でH22年度より開始。	
中心市街地が一体となったイベントの開催や活性化方策の検討	現在商店街ごともしくは団体ごとに行われているイベントを共同で開催し、中心市街地が一体となった活性化方策を支援。	・中心市街地でのイベント数が増加した。 ・第2期都市再生整備計画でH22年度より開始。		

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(精算報告)

ちゅうしんし が い ち
中心市街地地区

やまがた やまがた し
山形県 山形市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山形県	市町村名	やまがた 山形市	地区名	ちゅうしんがいら 中心市街地地区	面積	250 ha					
計画期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度					
					交付期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度

目標

ひとが活きるまち

- 1山形の歴史・文化資産を生かした都市構造再編
- 2中心市街地における交流人口の増加
- 3市街地居住者・高齢者や障害者に配慮したやさしいまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

山形県の県庁所在地である山形市は、山形盆地東南に位置し、宮城県との境界に位置する蔵王山系を源にする馬見ヶ崎川の扇状地を中心に東西31km、南北23km、市域面積381.58km²、人口255000人の特例市である。山形は古くは最上と呼ばれ出羽路の宿駅であったが、室町後期に斯波兼頼(しばかねより)が城を築いたことに始まる。斯波氏は最上氏と改姓し、後に義光(よしあき)の代に出羽一体に君臨することとなる。江戸期には、最上川船運で紅花や鋳物を流通し、商業都市としての発展した。明治以後は初代山形県令三島通庸(みちつね)が近代都市として整備を図り、明治22年に市制施行、山形市となった。以後、戦前と昭和の大合併の2度の合併で現在の山形市となる。

本市の中心市街地地区は、旧城下町の基盤のうえに発展しており、区域内は、旧三の丸外縁部に位置し、町屋をもとに形成された商業・業務集積地、明治時代以降に公共施設が配置されたオフィス街、霞城公園及び周辺の緑地、公共交通機関の拠点となるJR山形駅周辺及びJR山形駅西口周辺に新たに形成される新都心エリアを包括し、県都としての都市機能をもっている。

本市は、組合土地区画整理事業により、既存市街地外縁部に市街化区域の拡大と、基幹となる都市計画道路の整備を行い、流入交通の処理と幹線路網の整備を効率的に行ってきた。

一方、中世来の城下町であり、非戦災都市である旧市域(中心市街地地区を含む)は、整備が遅れ車社会への対応、安全な歩行者空間の確保などが不十分であり、公園や緑地、広場など人々が集う場所の確保もできていない。

結果、市街地の拡大、交通手段の自動車依存等生活スタイルの変化とそれに合わせた大型商業施設の郊外進出等による中心市街地の空洞化、中心市街地居住者の減少を招く結果となった。

しかし、近年は共同住宅の建築数の増加により、中心市街地内世帯数は微増の傾向にあり、今後は老後を中心市街地で生活する高齢者なども増えたと予想される。

中心市街地には、整備が遅れた分、寺社、城址、町屋、蔵、近代洋風建築など歴史的、文化的資産が数多く点在しており、これらを生かしながら、安全で住み良い環境を図る必要がある。

以上のことから、本市は、現在まちづくり総合支援事業の採択を受け、既存街路事業と土地区画整理事業等を実施している。

課題

本市中心市街地地区は、県内の歴史・文化の中心となり発展に寄与してきた。高度成長期を経て社会が成熟するにつれ、中心部の道路整備の遅れと交通量の増加は、交通混雑をひきおこし、商業地の郊外移転を招いている。

今後は、「都市計画マスタープラン」に示された主要課題のため、中心市街地地区に東西の歴史・文化軸、南北の都市軸を設定し、

- 1山形市のシンボルとしての山形城跡・霞城公園の整備を始めとする、歴史文化軸の整備を推進するとともに、商業業務集積地との調和と連携を図るために旧三の丸を強く意識し、その外縁ラインを幅広く強化し、歴史・文化資産を保存、利活用した街づくりをする必要がある。
- 2山形駅周辺は、山形新幹線開業を機にJR山形駅及び周辺(駅西地区)の再開発など、高度な都市機能を持つ都市軸の起点となっており、今後は、駅環状道路と都心リングの2つの骨格環状道路、中心市街地地区に直結する幹線道路の整備が緊急の課題となっており、地 区内のリターダンスーの改善および地区外からのアクセス強化を行い交流人口の増加を図る必要がある。
- 3環状道路の歩道整備に併せ、交差する支線の歩行空間を整備や消雪歩道化を積極的に推進するとともに、公共施設のバリアフリー化を進め、生活者の安全と回遊性を確保する必要がある。
- 4街に住民が集い賑わいが創出するために、人々が休憩し、集う場所、また災害時には避難場所ともなる公園、緑地、広場等の整備と、旧来の密集市街地の環境改善整備をする必要がある。

将来ビジョン(中長期)

本市の「新総合計画」のまちなか環境プロジェクトでは、魅力ある都心空間をつくるため、

- 1中心部の基盤を充実する、2賑わいのある魅力的な商店街をつくる、3交通が便利なまちをつくる、4山形城の歴史を活かし、山形らしさを強調する、5まちづくりの歴史を伝え、うるおいのあるまちをつくる、の5つを重点的施策と位置づけている。

山形市都市計画マスタープランでは、中心市街地活性化の枠組みとして、都市軸の充実、歴史・文化軸の形成、駅西地区新都心展開をあげている。

本市の都市部の持つ歴史・文化資産を活かした中心市街地の実現に向け、七日町周辺とJR山形駅周辺を結ぶ都市軸を骨格とし、霞城公園から文翔館(旧県庁)などを含む東西の歴史・文化軸と駅西地区新都心などを取り込んだ約248haを中心市街地地区と定め、上記枠組みに、そこに住む人、訪れる人が活きるまちを目標に、都市再生整備計画を定め、本市の目標である「環境先進都市」を目指す

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅東西自由通路横断者数	人・日	JR山形駅構内の東西自由通路を1日に横断する歩行者数	駅東と駅西との交流人口の推移を客観的に判断できる指標	8,496	H16	9,000	H21
区域内でのイベント数	回	総数(駅西、ほっとなる広場公園、十日町)	イベント会場に利用できる施設等が増加することにより回数が増加	71	H16	100	H21
季節による歩行者数		冬の歩行者数/夏の歩行者数	歩道の消雪化、拡幅等が実施されることにより、季節による歩行者数が平準化する	1.0	H16	1.3	H21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・山形の歴史・文化資産を活かした都市構造再編 1「歴史・文化軸」の形成 霞城公園の整備にリンクし、史跡三の丸外縁部を意識した歩行空間の確保等山形らしさの強調・充実により、圏域中心としての格調高いシンボル空間づくり。 中心市街地内にある歴史的遺産の御殿堰を、地域の新しい新名所として、潤いのある親水空間として整備し、人々の憩いの場と中心市街地の活性化を図る。 山形市の中心部に位置し、昭和初期のレトロ建築物である第一小学校旧校舎を整備活用し、多くの人々に歴史と文化に触れながら憩いの場として利用してもらい、さらにイベントを開催し中心市街地の活性化を図る。 土地区画整理事業、公営住宅(県PFI)、民間マンション(優建)等の整備による都市居住者の増加を受け、七日町地区と駅周辺地区を史跡三の丸跡でリンクする歩行者ネットワークの整備を図る。</p>	<p>(基)十日町土地区画整理事業、(基)仮御殿堰七日町歩道線 (基)第一小学校旧校舎保存活用事業、(提)第一小学校旧校舎保存活用事業、第一小学校旧校舎保存活用調査 (関)霞城公園整備事業、(関)霞城公園史跡復元事業 (関、県PFI)県営住宅整備</p>
<p>・山形の歴史・文化資産を活かした都市構造再編 2駅西地区新都心の展開 山形市の市街地発展の必然的方向を踏まえ、都心地区の新しい都心構造形成と新機能導入を図るとともに、駅東地区と連携を強め、均衡の取れた都市機能の発展を図る。</p>	<p>(関)山形駅西土地区画整理事業、(基)施設案内板整備 (基)都市計画道路十日町双葉町線、美畑天童線、山形停車場医学部線 (関、県事業)都市計画道路東原村木沢線(城南工区)、東原村木沢線(香澄町工区)山形停車場松波線</p>
<p>・中心市街地における交流人口の増加 「駅環状道路」「都心リング」の2つの環状道路を整備し、域内の回遊性を高め、幹線道路から中心市街地へアクセスする道路を整備することにより、中心市街地と近郊区や他都市の交流を密にする。また、文化施設である市民会館を交流の基点として改修整備する。 南北の美畑天童線、旅籠町千歳橋線(県)整備による市街地へのアクセス強化。</p>	<p>(基)都市計画道路十日町双葉町線、美畑天童線、(仮)南追手前南館線交差点改良、(関)都市計画道路薬師堂上桜田線 (関、県事業)都市計画道路旅籠町千歳橋線、新築西通二口橋線 (関、国直轄)都市計画道路双月志戸田線、旅籠町八日町線 (提:地域創造支援事業)山形市民会館改修事業(提:ソフト事業)中心市街地循環バス運行支援、BDF製造設備導入事業</p>
<p>・市街地居住者・高齢者や身体障害者に配慮した生活者にやさしいまちづくり 都市計画道路の改良による歩道の拡幅・消雪歩道化、市道の改良等による快適な歩道空間の提供、公園・広場・緑地の整備による、休憩場所の提供。 「都心リング」となる南北の諏訪町七日町線、旅籠町八日町線(県)を整備し、交差する市道の歩行空間を整備するとともに、自動車交通を旧県庁半郷線(R112)から分散、七日町地区を歩行者優先の商業区域へ導く礎を築く。 潤いのある住環境、災害時の非難場所確保のため、十日町地区公園を整備する。また、肢体不自由児童生徒が健常者と共に学べるように施設整備を行いバリアフリー化を進める。</p>	<p>(関)山形駅西土地区画整理事業、(関)十日町土地区画整理事業、(関)七日町土地区画整理事業、(基)施設案内板整備 (基)都市計画道路十日町双葉町線、美畑天童線、山形停車場医学部線、諏訪町七日町線、十日町地区公園 (提)御蔵通線、肢体不自由児童生徒教育環境整備事業、街なか側溝整備事業 (関)都市計画道路薬師堂上桜田線 (関、県事業)都市計画道路旅籠町千歳橋線、新築西通二口橋線 (関、国直轄)都市計画道路双月志戸田線、旅籠町八日町線</p>
<p>その他</p>	
<p>継続的なまちづくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路事業や土地区画整理事業にともない、各路線沿線、周辺住民の間に発足した「まちづくり委員会」等の各種研修、ワークショップ等をサポートする (提)まちづくりデザイン活動補助 ・中心市街地内の各商店街組織と連携し、賑わいの創出に努める (提)中心商店街共同化推進事業、起業家育成NPO法人支援事業、中心市街地賑わい創出支援事業 <p>協議中、検討中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歩行者にやさしいまちづくり」について、商店街等民間組織と連携し、土木作業の伴わない「歩行空間」確保に努めると同時に研究会を立ち上げ、ワークショップを開催する。 <p>計画管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付期間中は、事業の状況について広く市民に情報を提供し、事業の成果について、評価や改善案を求める。また、この内容について、情報を開示する。 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	6,940.4	交付限度額	2,783.1	国費率	0.401
---------	---------	-------	---------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
道路	美畑天童線	山形市	山形市	直	289m	H15	H21	H17	H21	2,020	1,073	1,073		821.7
	諏訪町七日町線	山形市	山形市	直	496m	H13	H21	H17	H21	5,925	2,988	2,988		2,739.4
	十日町双葉町線	山形市	山形市	直	160/441m	H10	H23	H17	H17	13,740	3,770	3,770		48.0
	山形停車場医学部線	山形市	山形市	直	267m	H10	H23	H19	H20	1,020	17.8	17.8		16.8
	美畑天童線	山形市	山形市	直	80m	H10	H23	H19	H19	520	7.9	7.9		7.9
	南追手前南館線交差点改良	山形市	山形市	直	100m	H17	H18	H17	H18	110	110	110		110.0
	仮)御殿堰七日町歩道線	山形市	山形市	直	65m	H21	H21	H21	H21	160	119	119		113.4
公園	仮称)十日町地区公園(1-5)	山形市	山形市	直	3,060m2	H19	H19	H19	H19	120	120	120		120.0
	地域生活基盤施設	山形市	山形市	直	—	H17	H18	H17	H18	44	44	44		44.0
	施設案内板	山形市	山形市	直	7基	H18	H18	H18	H18	6	6	6		6.0
既存建造物活用事業	第一小学校旧校舎保存活用事業	山形市	山形市	直	4848/880㎡	H20	H21	H20	H21	729	705	705		155.0
都市再生交通拠点整備事業														
土地区画整理事業	十日町土地区画整理事業	山形市	山形市	直	10.10ha	H7	H19	H17	H18	15,000	733	733		733.0
	七日町土地区画整理事業	山形市	山形市	直	0.77ha	H13	H19	H17	H18	1,814	182.2	182.2		182.2
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
人にやさしいまちづくり事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
合計										41,208	9,876	9,876	0	5,097.4

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業	市道御蔵町通線幅広路肩整備	山形市十日町	山形市	直	50m	H16	H20	H19	H20	6	2.0	2.0		2.0
	街なか側溝整備事業	山形市小姓町地区ほか	山形市	直	500m	H18	H21	H18	H21	15.12	15.12	15.12		15.1
	十日町区画整理	山形市十日町	山形市	直	10.10ha	H7	H19	H17	H19	—	289	289		289.0
	霞城公園整備	霞城公園	山形市	直	12,702m2	H17	H18	H17	H21	45	38.1	38.1		38.1
	霞城公園整備(史跡復元)	霞城公園	山形市	直	334,093m2	S54	H35	H17	H21	—	32.5	32.5		32.4
	山形市民会館改修事業	山形市香澄町	山形市	直	1,500m2	H17	H18	H18	H21	797	797.0	797.0		766.0
	肢体不自由児童生徒教育環境整備事業	山形市双葉町	山形市	直	エレベーター1基	H18	H18	H18	H18	47.99	47.99	47.99		48.0
第一小学校旧校舎保存活用事業	山形市本町	山形市	直	4848/3968㎡	H20	H21	H20	H21	729.00	700.00	700.00		548.5	
交通量調査	—	山形市	直	—	H21	H21	H21	H21	1.0	1.0	1.0		1.0	
事業活用調査	第一小学校旧校舎保存活用調査	山形市本町	山形市	直	1式	H19	H21	H19	H19	16.06	16.06	16.06		16.0
	事業効果分析	山形市	直	1式	H21	H21	H21	H21	—	1.5	1.5		0.9	
まちづくり活動推進事業	まちづくりデザイン活動補助	—	山形市	間	—	H16	H21	H17	H20	—	0.46	0.46		0.5
	中心商店街共同活性化推進事業	—	山形市	間	—	H16	H21	H17	H21	—	12.4	6.2	6.2	6.0
	インキュベータープラザ支援事業	—	山形市	間	—	H16	H21	H17	H21	—	115.0	45.20	69.8	45.2
	中心市街地賑わい創出支援事業	—	山形市	間	—	H16	H21	H17	H21	—	24.6	11.2	13.4	13.2
	中心市街地循環バス支援事業	—	山形市	間	—	H16	H21	H17	H21	—	34.0	13.1	20.9	13.1
	BDF製造設備導入事業	山形市七日町	山形市	間	—	H19	H19	H19	H19	31	31.0	14.0	17.0	8.0
合計										1,688.2	2,157.7	2,030.4	127.3	1,843.0
													合計(A+B)	6,940.4

